

研究集会 「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」

萌芽研究「東アジア縁辺海統合観測航海による対馬暖流系の流動・物質輸送過程の

解明」成果報告会

2012年7月5日(木) 13:30~18:00

7月6日(金) 9:30~15:30

北海道大学 低温科学研究所 講堂(研究棟新館3階)

(低温研までのアクセスは <http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/access.html> 参照)

【プログラム】

7月5日(木) 13:30~18:00

13:30-13:40 開会挨拶と趣旨説明 広瀬 直毅(九大応力研)・磯田豊(北大院水産)・江淵 直人(北大低温研)

● セッション1

座長 広瀬 直毅

13:40-14:00 田中 美菜子・漢那 直也(北大院環境)・村山 愛子・西岡 純(北大低温研)

オホーツク海南部・日本海北部の表層水中における栄養塩および溶存鉄の地理的変動

14:00-14:20 中村 知裕(北大低温研)・磯田 豊(北大院水産)・三寺 史夫(北大低温研)

2011年おしよろ丸による宗谷海峡24時間集中観測

14:20-14:40 小野 純(極地研/東大院新領域)・大島 慶一郎(北大低温研)・内本 圭亮(RITE)・

三寺 史夫(北大低温研)・山口 一(東大院新領域)

蒸発と生物分解を考慮した、オホーツク海における流出油の粒子追跡シミュレーション

14:40-15:00 板谷 和彦(稚内水試)・宮下 和士・Safuruddin(北大北方セ)・向井 徹・水上 卓哉・

藤森 康澄(北大院水産)

計量魚探により観察されたオホーツク海宗谷暖流域の生物の分布状況(スケトウダラ・イカナゴなど)

15:00-15:20 田澤 雅人(北大院水産)・工藤 勲(北大院水産)・橋岡 香織・吉村 真理(北大院環境)・

森本 昭彦(名大水循環セ)・伊藤 雅(名大院環境)・磯田 豊(北大院水産)

アルカリ度と塩分を混合指標とした対馬暖流域の基礎生産量の推定

15:20-15:40 休憩

● セッション2

座長 磯田 豊

15:40-16:00 蒲地 政文(気象研)

気象研究所海洋データ同化システムによる海況解析の紹介

16:00-16:20 久万 健志・笹山 了平・日置 菜々子・森田 雄一郎(北大院水産)

東シナ海-日本海-オホーツク海の対馬暖流水における化学成分の挙動

16:20-16:40 井上 睦夫(金沢大低レベル放射能実験施設)・長尾 誠也・山本 政儀・浜島 靖典・

早川 和一(金沢大院自然)・磯田 豊(北大院水産)

日本海およびその周辺海域における表層海水のCs-134, Cs-137濃度の経時変動

16:40-17:00 方 曉蓉(上海海洋大)・磯田 豊・工藤 勲(北大院水産)・荒巻 能史(環境研)・

今井 圭理(北大水産)・江淵 直人(北大低温研)

対馬暖流下部付近の水塊挙動

17:00-17:20 森本 昭彦(名大水循環セ)・滝川 哲太郎(水大校)・伊藤 雅(名大院環境)

おしよろ丸観測時の対馬暖流と対馬海峡を通過する物質

17:20-18:00 総合討論1

19:00- 懇親会

7月6日(金) 9:20~15:30

● セッション3

座長 市川 香

09:20-09:40 伊藤 集通・川村 英之(原子力機構)・大西 光代・磯田 豊・中山 智治・島 茂樹(海洋財団)
津軽海峡における通過流量の変動

09:40-10:00 千手 智晴(九大応力研)・磯田 豊(北大院水産)・荒巻 能史・田中 伸一(環境研)
日本海盆-大和海盆間に存在する底層フロントの変動について
~おしよろ丸2011年6月の観測結果に関連して~

10:00-10:20 田中 伸一(環境研)・荒巻 能史(環境研)・磯田 豊(北大水産)・千手 智晴(九大応力研)・
熊本 雄一郎(JAMSTEC)

マルチトレーサーを用いた日本海底層水形成量の推定 ~おしよろ丸2011年6月の観測結果に関連して~

10:20-10:40 遠藤 貴洋・松野 健・千手 智晴(九大応力研)
日本海底層水の昇温過程に関する数値実験

10:40-11:00 休憩

● セッション4

座長 森本 昭彦

11:00-11:20 高尾 祥丈・北川 雅士・山本 弦喜・稲垣 雅衣・高橋 竜太・兼田 淳史(福井県大海洋生物資源)・
磯田 豊(北大院水産)

対馬暖流域におけるラビリントウ類の現存量分布

11:20-11:40 福留 研一(九大応力研)・千手 智晴(九大応力研)・大慶 則之(石川水総セ)・広瀬 直毅(九大応力研)
能登半島周辺の陸棚域における漁船の操業を利用した流況観測

11:40-12:00 高山 勝巳・広瀬 直毅(九大応力研)・渡邊 達郎(水研セ日水研)
新・旧日本海予測モデルの比較

12:00-12:20 伊藤 雅(名大院環境)・森本 昭彦(名大水循環セ)・磯田 豊(北大院水産)・滝川 哲太郎(水大校)
日本海南西部における海面高度の経年変動について

12:20-13:30 昼食

● セッション5

座長 江淵 直人

13:30-13:50 市川 香(九大応力研)・神崎 優(九大総理工)・福留 研一(九大応力研)・森本 昭彦(名大水循環セ)・
尹 宗煥(九大応力研)

GPSを用いた対馬海峡の海面力学高度観測(II) 往路と復路はなぜ違う?

13:50-14:10 姜 分順・広瀬 直毅・尹 宗煥(九大応力研)
対馬/大韓海峡における短周期流量変動の特性

14:10-14:30 吉川 裕・松野 健(九大応力研)・和川 拓(東北水研)・長谷川 徹・西内 耕・岡本 和磨(西海区水研)・
吉村 浩・森井 康弘(長大水産)

東シナ海CKライン上における流動構造の季節変化

14:30-14:50 滝川 哲太郎・三輪 洋介(水大校)・森本昭彦(名大水循環セ)・吉川 裕(九大応力研)
東シナ海における潮位と潮流の関係

—おしよろ丸第299次航海で回収した海底設置 ADCP データと人工衛星海面高度偏差—

14:50-15:30 総合討論2